

特定非営利活動法人 a little 事業報告書
 <2019年10月～2020年3月までの活動報告>

9

会員数 一般会員 69 名 フラッシュ会員 19 名

【はじめに】

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、2月の後半よりいくつかの活動が中止になりました。中止になったのは社会の時間、よるごはん会、家事サポートです。ジョンソン・エンド・ジョンソンの助成金に関わる講座やおしゃべり会は、延期後オンライン講座の準備を整えて開催いたしました。全国小中学校の休校、また緊急事態宣言発出の社会状況を踏まえ、a little の運営スタッフミーティングでも何度も話し合いを重ねました。感染の不安と同時に、つながりが途絶えることで不安や困難な状況に陥る方がいることも想像できました。答えがすぐにでない中、3月は今できる最善の対応はなにかを模索し決断する1か月でした。判断は社会状況や個々の状況に応じて変化していくため、運営スタッフ内部では頻繁にそれぞれの考えを話しています。産前産後のご家庭と関わるが多い活動のため、活動再開後も感染予防のために団体として準備できることを検討し、体制を整えています。また、対面の活動が中止している中、つながりが遮断されて孤立してしまう人が生まれないように、オンラインでも安心してつながってもらえるような体制を今後も整えていきます。

(1) 地域サポート事業

1 家事サポート事業(延べ件数 257 件)

家事サポートに携わるスタッフの呼び名をスペシャルパートナー(略称:SP)としました。家事サポートの利用者、提供者がともに、「助ける側」と「助けられる側」に無意識に自分たちを固定化しないため、そして対等な関係であることを伝えやすくするために現在活動している6名で考えました。

昨年の主な利用者は産前産後のご家庭と小さいお子さんがいるご家庭です。利用者からの口コミや行政からの紹介など、問い合わせが増えました。産前産後のご家庭では、産後の1か月ほど頻繁に訪問し、沐浴や料理のお手伝いをしました。その後、赤ちゃんの成長に合わせて訪問回数を減らし、月に1～4回ほどの利用になることが多いです。子育て世帯は定期的な利用の場合と、出張などでの単発利用などがありました。

夏に完成した家事サポートレシピ集は、利用者がメニューを考える負担を軽減させ、SPの料理へのハードルを下げることにつながりました。

月に一度の家事サポートミーティングや、7月と2月に開催した地域子育てサポーター養成連続講座に参加することで、SP全員の知識の更新や技術の上達、理念の共有につなげました。

2 西宮市協働事業「もうひとつの両親学級」 (参加



者数 夫婦 12 組 おひとり3人 合計 27人)

西宮市未来づくりパートナー事業として 11 月に「もうひとつの両親学級」を開催しました。事業の企画と運営、協力を依頼した西宮市の関係課(子育て総合センター、地域保健課)との調整を行いました。当日は「バースプラン作り」「マタニティフォト」「マタニティヨガ」「ミニ料理講座」「相談」の5つのブースを参加夫婦がすべて体験する内容でした。マタニティフォトはプロに依頼し、その他はムラのミライスタッフと a little 運営スタッフ、a little 会員が当日講師を受け持ちました。相談ブースでは保健師・助産師・子育てコンシェルジュが相談にのり、西宮市が課課を超え、専門家同士がつながり、情報を共有する意義が見えました。産前の女性そして夫婦が、行政、専門家そして民間の支援団体に一度につながる機会を提供できました。5つのブースの他に、理事長さかぐちの「産褥部屋」を再現し、「産後のイメージが沸いた」と好評でした。ボランティアスタッフとして a little 会員をはじめ、a little の活動に関心のある方が多数協力してくれ、会員が力を発揮する、会員同士が時間を共有する場にもなりました。



(2) 地域交流・つどい場事業

1 a little の部屋(おしゃべり会)にかかる事業 (延参加者数 大人 24人 子ども 14人)

毎月第4月曜、西宮市市民交流センターの和室を利用しました。夏以降は、ファミリースタートの説明会としての利用も始まり、運営スタッフ以外にファミリースタート担当スタッフも参加するようになりました。a little の講座に参加した方、家事サポートを利用されている方、ファミリースタートに興味がある方など、次につながる場として積極的に案内しました。会員と非会員、運営スタッフなど、誰もが参加できる場所です。



2 a little 社会の時間(参加者数 23人)

a little の立ち上げ当初から、「自分たちの活動が社会をよくするものでありたい」という思いを持ち、私たちの生活の中から社会を考える時間として「政治のおしゃべり会」や「震災を振り返る時間」などを開催していました。昨年度後半は 2 月に「3.11 東日本大震災を振り返る時間」(お話:会津放射能情報センター代表 片岡輝美さん)を開催しました。普段 a little と接点が少ない年代の方が参加する機会になりました。3 月に予定していた「アウシュビッツ報告会」(お話:a little 事務局長 大和陽子)はコロナウィルス感染防止のため中止になりました。



- 3 会員ミーティング・ボランティアデイ(延参加者数 28人)
 毎月1回開催していた「会員ミーティング」は12月から「ボランティアデイ」と名前を変え、チラシ折作業など手作業のお手伝いを中心に、会員同士の情報交換をする場になりました。参加へのハードルを下げ、会員が a little に関わる入り口を広げていきたいと考えました。
- 4 会員限定企画(延参加者数 大人28人 子ども32人)
 11月と1月によるごはん会、12月におせちづくりの会を開催しました。よるごはん会は会員の夫も一緒に参加することも増えてきました。おせちは3回目で人気がある企画です。どちらも大家族気分を味わえる時間になりました。



1 ジョンソン・エンド・ジョンソンに係る事業

協同団体:ムラのミライ

協力:ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ「JJCC 助成プログラム」

事業概要:

「西宮で広げる地域で助け合う子育ての輪」をテーマに 2018 年度から継続している事業です。

【1】 パートナーシップと子育てのよい関係

開催日:10月26日(産前)

※産後講座はコロナウィルス感染拡大防止のため中止になりました。

場所:たんぽぽ広場



対象者:産前の女性とパートナー
 参加人数:3組6人

マタニティヨガから産前講座につながった夫婦が1組、その他初めて a little の講座

に参加した2組の参加でした。伝えたいことは以下の3つです。

①産後1か月の養生の必要性

②夫婦で一緒に考え、新しい家族を迎えるために足並みをそろえること

③夫婦や家族だけががんばらなくていいこと(外部サポートの利用)

1回の講座でつながりが切れてしまわないよう、次につなげることをスタッフ全員が意識し、当

日の参加者はその後マタニティヨガやファミリースタート、もうひとつの両親学級、おしゃべり会、家事サポートなど、さまざまな a little の活動につながりました。
予定していた産後講座を日程延期し、ZOOM 開催に変更しましたが、参加者が集まらなかったため、4月に個別のZOOM産前講座を3回開催しました。

【2】地域子育てサポーター養成連続講座

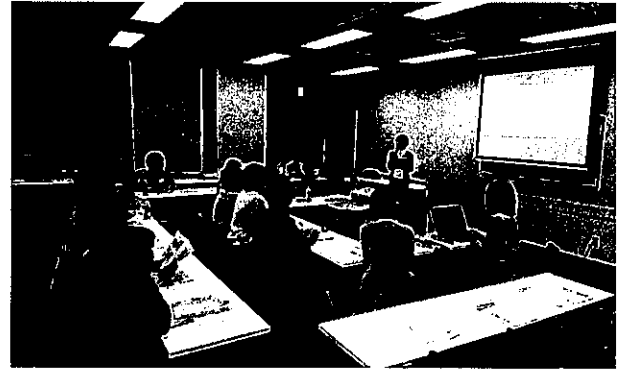
開催日:2月7日、14日、21日(金)

※2月28日はコロナウィルス感染拡大防止のため4月24日に延期しました。

場所:男女共同参画センター ウェーブ

対象者:家事サポート、地域活動に関心ある方

参加人数:延 55人



連続4回講座を通じて、産前産後の女性をサポートするために知っておきたい知識を伝えると同時に、どの講座も一方的に講師の話聞くという座学だけではなく、ワークをしながら自分自身を振り返り、それぞれの経験をシェアする時間をとりました。講座の内容は以下のとおりです。



1回目:2/7 シンプルな質問で身につくわかりあう対話術 (alittle 大和陽子)

2回目:2/14 産前産後ケアと赤ちゃんの発達講座(助産師 森田輝さん)

3回目:2/21 産前産後の行政・民間サービスと実際の現場の様子について(a little 坂本恭子)

4回目:4/24 産前産後の女性の心の変化(臨床心理士 藤澤真莉さん)

※ZOOM開催



【3】男性のための料理講座(参加者数 人)

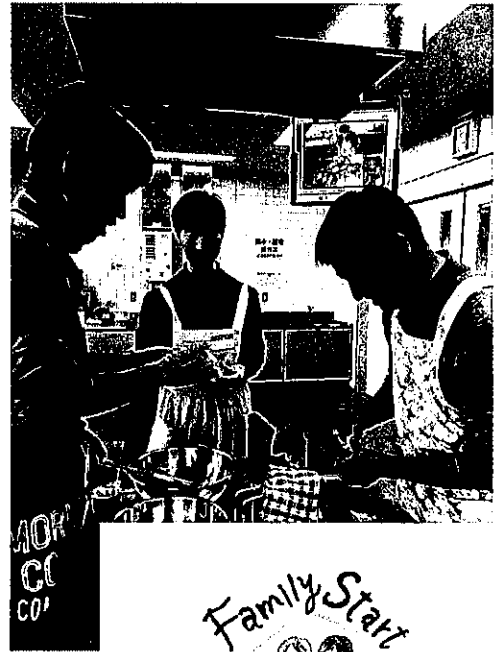
開催日: 12月7日(土)

場所: 中央公民館

対象者: 妊娠中から乳幼児までのお子さんがある女性のパートナー

参加人数: 8人

12月に2回目の男性のための料理講座を開催しました。1回目に引き続き参加して下さった方が半数でした。3グループに分かれ、1グループ2~3人で調理実習をしましたが、どのテーブルも話が盛り上がり、男性も子育てのことを話せる場が必要とされていると感じました。



【4】ファミリースタート(延訪問回数 34回)

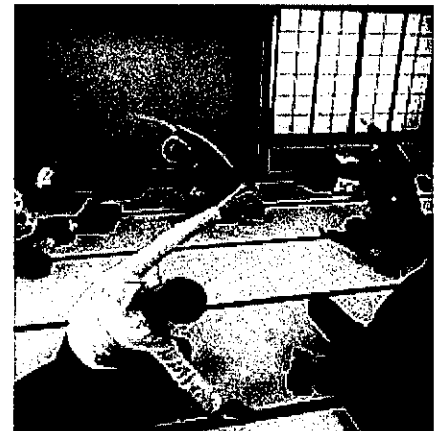
2018年度の調査報告より導きだした半径1.5キロのつながりを作るための訪問事業です。家事サポートを受ける、行政とつながることに抵抗のある人ともっと気楽につながり、必要なサービスにつなぐことを目指しています。また、地域子育てサポーター養成連続講座受講者の中にも無償ボランティア活動を希望する声もあり、スタッフの新しい活動の場としても期待しています。コーディネーターによる面談1回、訪問3回のあと、コーディネーターが話を聞き、必要な支援があればつなぎ、a littleの講座、居場所などをご案内しました。



2 その他の事業

【1】マタニティヨガ(延参加者数 26人)

毎月第4日曜日午前中に開催しました。パートナーシップ講座と同様に、妊娠期の女性とそのパートナーと出会うための入り口です。週末に開催することで、出産までは働いていることも多い妊婦さんも参加しやすいことを意識しています。1時間のヨガのあと、30分交流をし、参加者の情報交換の場になりました。ヨガからファミリースタート、パートナーシップ講座、a littleの部屋などにつなぎ、関係が途切れないようにしています。



【2】いきいきフェスタ「ジェンダーフリーな絵本の選び方講座
&ミニカフェ」

(参加者数 16 人)

開催日:10月20日

男女共同参画センターのイベントに活動推進グループのひとつとして参加しました。男女共同参画センターのことをよく知らない若い年代の人にお子さんと一緒に来てもらいやすいように、テーマは「絵本」(講師:NPO 法人 SEAN 堀切公代さん)にし、おにぎりとお味噌汁を提供しました。絵本を切り口に、多くの参加がありました。



【3】男女共同参画センター市民企画講座「女子力・男らしさを
求めない子育て～私たちが縛る呪いのことば」(参
加者数 19 人)

開催日:1月18日

3年目になる男女共同参画センター市民企画講座は、NPO 法人 SEAN の副理事をされている遠矢家永子さんをお招きし、子どもの頃からジェンダーに縛られた言葉かけ、態度の押しつけをされているかについてお話いただきました。ジェンダーにとらわれた生き方ではなく、ひとりひとりがありのままであられる社会を目指すという a little の理念を再確認する時間になりました。



(4)広報

(1) メールマガジン(400名超)

隔月発行。近日開催の企画内容などスケジュールを掲載しました。

(2) 会員メールマガジン(80名超・発行回数6回)

隔月発行。会員の紹介、会員限定企画、ミーティングのお知らせや事業報告など、メールマガジンより充実した内容を配信しました。

(3) フェイスブック・ブログ

講座企画の告知、報告の他、家事サポートや産前産後の訪問(ファミリースタート)の報告、会員さんの声などを掲載しました。

(4) 市政ニュース・みやはぐ・ミヤママ

西宮市の後援をとれた場合、市政ニュースへの掲載を依頼しました。みやはぐは a little の講座を掲載してくれました。

(5) ニュースレター(1回)

秋に発行し、会員に配布するほか、イベントなどで配布しました。

(4) その他

(ア)受賞

12月に第28回コープこうべ虹の賞の奨励賞を受賞しました。この賞は心豊かに暮らせる地域づくりに貢献している個人や団体に贈られるものです。表彰式では阪神間の15団体が交流しました。



(イ)視察

12月4日～5日運営スタッフ3人(さかぐち、大和、坂本)がジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人の助成団体交流会に参加し、「NPO法人せたがや子育てネット」「認定NPO法人こまちぷらす」「NPO法人ゆるゆるま～ま」を視察しました。



(ウ)研修

2月23日・24日運営スタッフ4人(さかぐち、大和、岩本、坂本)がNPO法人SEANの「次世代の子どもへの大人の責任力 GCR@SEAN 認定講座」を受講しました。



2019年度活動計算書

2019年10月1日～2020年3月31日まで

9 20

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	180,000		
賛助会員受取会費	74,000	254,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	134,000		
任意団体a little	1,342,087	1,476,087	
3. 受取助成金等			
受取地方公共団体助成金	0		
受取民間助成金	0		
4. 事業収益			
地域サポート・つどい場事業収益	1,238,484		
ジョンソン・エンド・ジョンソン事業収益	1,334,620	2,573,104	
5. その他収益			
受取利息			
雑収益	104,958	104,958	
経常収益計			4,408,149
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
スタッフ謝金	1,189,590		
ボランティア謝金	22,970		
人件費計	1,212,560		
(2)その他経費			
講師謝金	220,000		
消耗品費	78,071		
旅費交通費	36,064		
通信費	12,584		
保険料	1,960		
会場費	31,528		
製本印刷代	199,196		
業務委託費	120,620		
その他経費計	700,023		
事業費計		1,912,583	

(単位:円)

科 目	金 額	
2. 管理費		
(1) 人件費		
事務局スタッフ謝金	384,500	
ボランティア謝金	2,500	
人件費計	387,000	
(2) その他経費		
消耗品費	9,802	
印刷費	6,860	
通信費	43,117	
旅費交通費	125,828	
光熱水費		
保険料		
会議費	22,600	
雑費	23,012	
業務委託費	46,200	
福利厚生・研究費等	93,577	
その他経費計	370,996	
管理費計		757,996
3. 支払い寄付金	361,000	361,000
経常費用計		3,031,579
当期正味財産増減額		1,376,570
設立時設立正味財産額		529,532
次期繰越正味財産額		1,906,102

貸借対照表
2020年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1)現預金	1,906,102		
(2)未収金	0		
(3)棚卸資産	0		
(4)仮払金	0		
流動資産合計		1,906,102	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)その他の資産			
保証金	0		
その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,906,102
II 負債の部			
1. 流動負債			
(1)未払金	0		
(2)前受金	0		
(3)未払消費税	0		
(4)未払法人税等	0		
(5)預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
(1)有形固定負債	(0)		
(2)その他の負債	(0)	0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	0		
当期正味財産増減額	0		
正味財産合計			1,906,102
負債及び正味財産合計			1,906,102

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によつてい
ます。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	経常収入	その他	事業総計	管理部門	合計
I 経常収益					
1. 受取会費	0	0	0	254,000	254,000
2. 受取寄付金	0	1,342,087	1,342,087	134,000	1,476,087
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0
4. 事業収入	1,238,484	1,334,620	2,573,104	0	2,573,104
5. その他収益	0	0	0	104,958	104,958
経常収益計	1,238,484	2,676,707	3,915,191	492,958	4,408,149
II 経常費用					
(1) 人件費					
スタッフ謝金	1,189,590	0	1,189,590	384,500	1,574,090
ボランティア謝金	22,970	0	22,970	2,500	25,470
人件費計	1,212,560	0	1,212,560	387,000	1,599,560
(2) その他経費					
講師謝金	0	220,000	220,000	0	220,000
消耗品費	13,500	64,571	78,071	9,802	87,873
印刷費	0	0	0	6,860	6,860
旅費交通費	420	35,644	36,064	125,828	161,892
通信費	0	12,584	12,584	43,117	55,701
保険料	0	1,960	1,960	0	1,960
会場費	0	31,528	31,528	22,600	54,128
製本印刷代	0	199,196	199,196	0	199,196
業務委託費	0	120,620	120,620	46,200	166,820
福利厚生費等	0	0	0	93,577	93,577
雑費	0	0	0	23,012	23,012
寄付金	0	0	0	361,000	361,000
その他経費計	13,920	686,103	700,023	731,996	1,432,019
経常費用計	1,226,480	686,103	1,912,583	1,118,996	3,031,579
当期経常増減額	12,004	1,990,604	2,002,608	△ 626,038	1,376,570

財産目録

2020年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1)現金預金	(1,906,102)	
手許現金	520,883	
ゆうちょダイレクト銀行(当座)	77,759	
ゆうちょ銀行(普通)	1,307,460	
(2)未収金	(0)	
会費等自動引落	0	
寄付金収入	0	
事業収入		
(3)棚卸資産	(0)	
(4)仮払金	(0)	
	0	
流動資産合計		1,906,102
2. 固定資産		
(1)有形固定資産	(0)	
什器備品	0	
(2)その他の資産	(0)	
保証金	0	
固定資産合計		0
資産合計		1,906,102
II 負債の部		
1. 流動負債		
(1)未払金	(0)	
(2)前受金	(0)	
受託事業 次年度分		
(3)未払消費税	(0)	
未払消費税		
(4)未払法人税等	(0)	
未払法人市県民税		
(5)預り金	(0)	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
(1)有形固定負債	(0)	
(2)その他の負債	(0)	0
負債合計		0
正味財産		+ 1,906,102